

県内経済は、依然として厳しい状況にあるが、生産活動で回復に向けた動きが続いており、個人消費も低調な中、一部に明るさもみられ、雇用情勢にも改善の兆しが窺われるなど、持ち直しの動きがみられる。

1. 平成22年6月の県内経済

消費動向をみると、大型小売店販売額（全店舗ベース）は、衣料品、飲食料品、身の回り品などが軒並み低調に推移し、13ヵ月連続で前年を下回った。乗用車新車販売は、補助金や減税の効果から普通車、小型車、軽乗用車とも前年を上回り、合計では11ヵ月連続で前年を上回った。生産活動は、鉱工業生産指数（原指数）が6ヵ月連続で前年を上回るなど、回復に向けた動きが続いている。投資動向をみると、公共工事前払保証取扱は、請負金額が6ヵ月ぶりに前年を下回った。建築着工（民間・非居住用）は、棟数が2ヵ月連続で前年を上回った。新設住宅着工戸数は、持家、分譲が前年を下回り、合計では2ヵ月ぶりに前年を下回った。倒産状況は、負債金額10百万円以上の倒産件数、負債総額とも前年を下回った。雇用情勢は、依然として厳しい状況にあるが、有効求人倍率（季節調整値）が2ヵ月連続で前月を上回るなど改善の兆しがみられる。

〔消費動向・一部に明るい動き〕

大型小売店販売額（全店舗ベース）は、厳しい雇用・所得環境が続く中、衣料品を始め飲食料品や身の回り品など軒並み低調に推移し、全店舗ベースで175億21百万円（前年同月比△1.8%）と13ヵ月連続で前年を下回った。乗用車新車販売は、普通車、小型車、軽乗用車とも補助金や減税の効果から前年を上回る動きが続いており、合計では11ヵ月連続で前年を上回った。消費者物価指数は、前月比0.1%下降し、2ヵ月ぶりに前月を下回った。また前年同月比では1.1%下降し、17ヵ月連続で前年を下回った。個別企業の販売動向をみると、家電量販店は、エコポイント効果から薄型テレビが依然として好調を保っており、パソコン、DVDレコーダーも堅調に推移した。一方、冷蔵庫、洗濯機、携帯電話、デジカメ等は振るわず、合計では前年を下回り推移した。ホームセンターは、節約志向が続く中で園芸、植物が好調に推移したものの、日用品、家庭用品、カーレジャー用品、ペット関連などが振るわず、合計ではほぼ前年並みの水準となった。旅行取扱額は、国内・海外の個人ならびに団体とも、景気低迷や所得環境の悪化などから前年を下回り推移した。

〔投資動向・横ばい〕

6月の公共工事前払保証取扱は、件数は2ヵ月連続で前年を下回った。また請負金額は6ヵ月ぶりに前年を下回った。5月の建築着工（民間・非居住用）は、棟数は2ヵ月連続で、床面積、工事費予定額は、3ヵ月連続でそれぞれ前年を上回った。6月の新設住宅着工戸数は、持家、分譲が前年を下回り、合計では2ヵ月ぶりに前年を下回った。

〔生産活動・回復に向けた動き〕

5月の鉱工業生産指数（季節調整済指数）は、96.6（前月比+4.3%）となり、2ヵ月ぶりに前月を上回り、また原指数は85.9（前年同月比+25.8%）となり、6ヵ月連続で前年を上回るなど回復に向けた動きを続けている。6月の大口電力販売量は、7ヵ月連続で前年を上回った。業種的には、非鉄金属や輸送機械で好調が続いている。

〔企業倒産・横ばい〕

負債金額10百万円以上の企業倒産状況は、倒産件数が5ヵ月連続で前年を下回り、負債総額は4ヵ月連続で前年を下回った。

〔雇用動向・改善の兆し〕

有効求人倍率（季節調整値）は、0.43倍となり2ヵ月連続で前月を上回った。原数値では0.38倍となり、3ヵ月連続で前年を上回った。新規求人倍率（季節調整値）は、0.75倍となり、2ヵ月ぶりに前月を下回った。原数値では0.76倍となり、5ヵ月連続で前年を上回った。

県内経済動向の概要

	項目	前年同月比			前月比		
		22年4月	5月	6月	22年4月	5月	6月
消費動向	大型小売店販売額（全店舗）	↘	↘	↘	↘	↗	↘
	乗用車新車登録台数	↗	↗	↗	↗	↘	↗
	消費者物価指数（総合）	↗	↗	↗	↗	↗	↗
投資動向	公共工事前払保証取扱保証請負金額	↗	↗	↘	↗	↘	↗
	建設着工棟数（民間・非居住用）	↗	↗	—	↗	↘	—
	新設住宅着工戸数	↗	↗	↘	↗	↗	↗
生産活動	鉱工業生産指数（総合）注1	↗	↗	—	↗	↘	—
	大口電力販売量	↗	↗	↗	↗	↘	↗
企業倒産	企業倒産件数注2	↗	↗	↗	↗	↘	↗
	企業倒産金額注2	↗	↗	↗	↗	↘	↗
金融動向	預金	↗	↗	—	↗	↗	—
	貸出金	↗	↗	—	↗	↘	—
雇用動向	有効求人倍率（パート含む）注3	↗	↗	↗	↗	↗	↗
	新規求人倍率（パート含む）注3	↗	↗	↗	↗	↗	↗

良化 ↗ 良化傾向にあるがほぼ横這い ⇐⇒ 悪化傾向にあるがほぼ横這い ⇐⇒ 悪化 ↘

注1：前月比は季節調整値、前年同月比は原指数。注2：負債総額10百万円以上。注3：前月比は季節調整値。前年同月比は原指数。

2. 県内経済動向

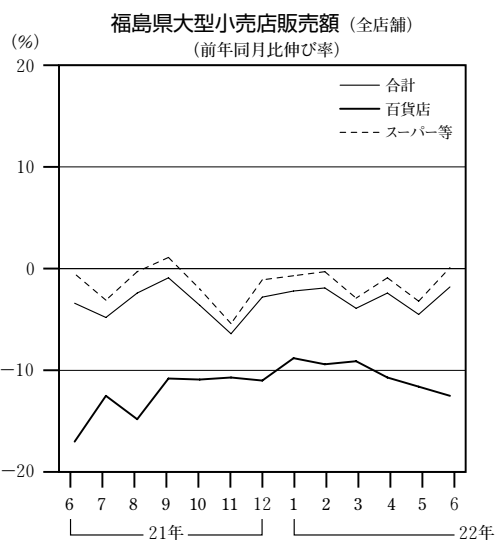
— 消費動向 —

大型小売店 6月の県内大型小売店の販売額は、雇用・所得環境が厳しい状況が続く中、初夏・夏物衣料全般が振るわなかったことに加え、節約志向から飲食料品や身の回り品も低調に推移し、全店舗ベースで175億21百万円（前年同月比△1.8%）と13ヵ月連続で前年を下回った。一方、既存店ベースでも同3.4%減と19ヵ月連続で前年を下回った。（注：既存店とは調査月において当月と前年同月でともに存在した事業所の数値。）

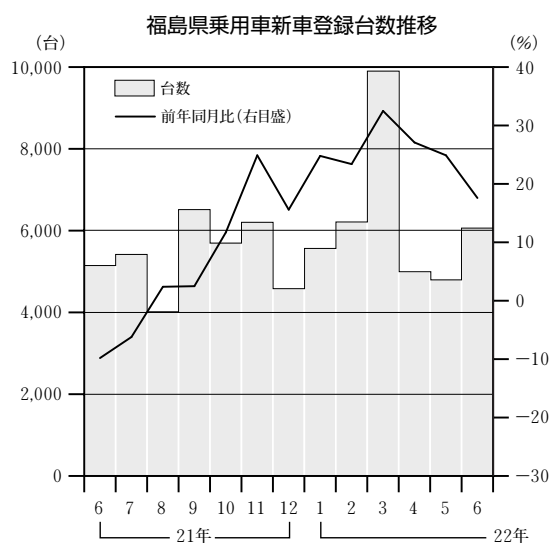
業態別に内訳をみると百貨店は、衣料品が主力の婦人服をはじめ全般的に低調に推移したほか、飲食料品、身の回り品も前年を大きく割り込み、全店舗ベースで23億9百万円（同△12.5%）と、既存店ベース（同△6.2%）とともに34ヵ月連続で前年を下回った。

スーパーは、節約志向が強まる中で、主力の飲食料品の売上が前年を上回り、衣料品や身の回り品の売上が前年を下回ったものの、全店舗ベースでは152億12百万円（同+0.1%）と9ヵ月ぶりに前年を上回った。一方、既存店ベースでは同2.9%減と、13ヵ月連続で前年を下回った。

乗用車販売 6月の乗用車新車登録台数（ナンバーベース）は、合計で6,220台（前年同月比



（資料：経済産業省）



（資料：㈱日本自動車販売協会連合会福島県支部）

+16.6%)となり、減税や補助金効果により11ヵ月連続で前年を上回った。車種別でみると、普通車は1,959台(同+47.0%)と12ヵ月連続で前年を上回った。小型車は2,250台(同+7.1%)と11ヵ月連続で前年を上回った。軽乗用車は2,011台(同+5.8%)と4ヵ月連続で前年を上回った。

6月の乗用車中古車販売台数(軽自動車は名義変更を含む)は、合計で9,039台(前年同月比+5.3%)と2ヵ月ぶりに前年を上回った。車種別にみると普通車は2,493台(同△0.4%)と2ヵ月連続で前年を下回った。小型車は3,475台(同+7.1%)と7ヵ月ぶりに前年を上回った。軽乗用車は3,071台(同+8.1%)と4ヵ月連続で前年を上回った。

消費者物価指数 6月の消費者物価指数は、総合指数(福島市、平成17年=100)でみると、99.8(前月比△0.1%)となり、2ヵ月ぶりに前月を下回った。前年同月比では1.1%下がり、17ヵ月連続で下降した。

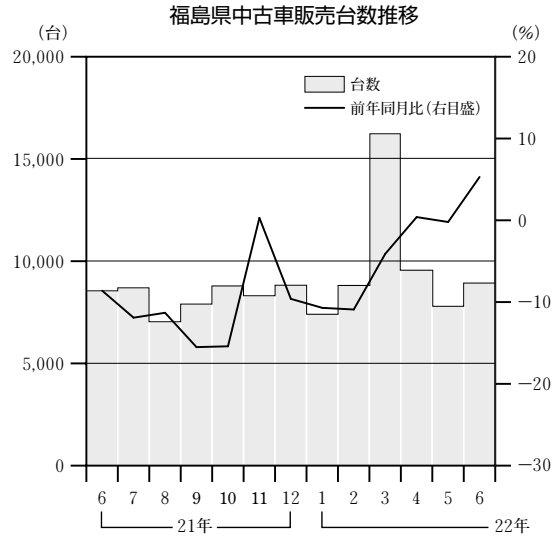
費目別の指数動向をみると、「食料」が104.6(前月比+0.3%)、「光熱・水道」が106.8(同+0.2%)、「保健医療」が97.1(同+0.2%)と3費目で前月比上昇した。一方、「被服及び履き物」が103.5(同△2.1)、「交通・通信」が98.9(同△0.6%)、「家具・家事用品」が88.1(同△0.5%)、「教養娯楽」が94.9(同△0.4%)、「諸雑費」が101.3(同△0.1%)、「住居」が98.4(同△0.1%)と6費目で前月比下降した。また、「教育」は、82.9と3ヵ月連続で前月と同じであった。

家電量販店 6月の売上状況は、エコポイント効果から薄型テレビが依然として好調を保っており、パソコン、DVDレコーダーも堅調に推移した。一方、冷蔵庫、洗濯機、携帯電話、デジカメ等は振るわず、合計では前年を下回り推移した。

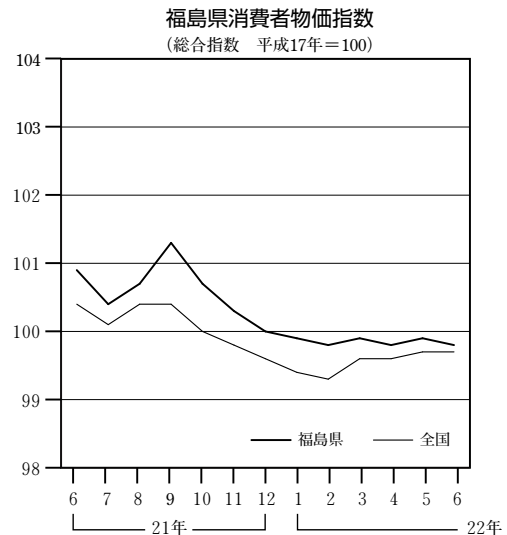
ホームセンター 6月の売上は、節約志向が続く中で園芸、植物が好調に推移したものの、日用品、家庭用品、カーレジャー用品、ペット関連などが振るわず、合計ではほぼ前年並みの水準となった。

旅行 6月の旅行取扱額実績は、景気低迷や所得環境の悪化などから盛り上がり欠け、国内・海外の個人並びに団体とも、前年を下回り推移した。

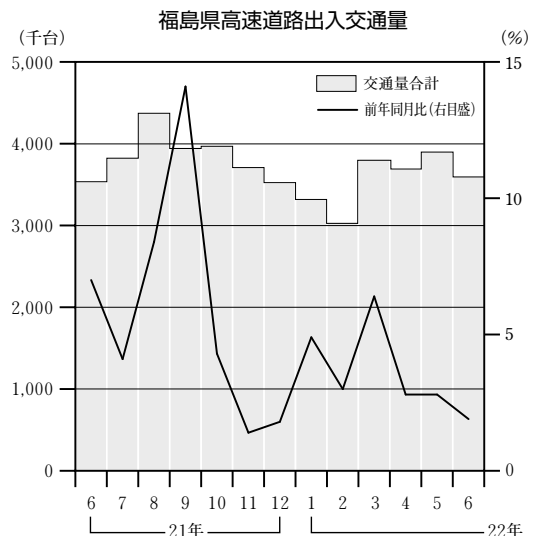
高速道路 6月の県内自動車道出入口台数は、「ETC



(注) 軽自動車は名義変更台数含む
資料: (社)日本自動車販売協会連合会 福島支部
(社)全国軽自動車販売協会連合会



(資料: 総務省統計局)



(資料: 東日本高速道路(株)東北支社)

割引制度」の効果などから、3,615,888台（前年同月比+1.9%）と15ヵ月連続で前年を上回った。路線別にみると、東北自動車道（白河IC～国見IC）は2,153,408台（同+0.8%）と7ヵ月連続で前年を上回った。磐越自動車道（いわき三和IC～郡山東IC）は242,674台（同+3.1%）と4ヵ月連続で前年を上回った。磐越自動車道（磐梯熱海IC～西会津IC）は514,460台（同+0.3%）と2ヵ月連続で前年を上回った。常磐自動車道（いわき勿来IC～常磐富岡IC）は705,346台（同+6.4%）と15ヵ月連続で前年を上回った。

福島空港 6月の福島空港国内定期路線の利用状況は、17,997人（前年同月比+2.7%）と前年を上回った。路線別にみると、札幌便は7,752人（同△17.3%）、大阪便は10,245人（同+25.7%）となった。一方、国際定期路線の利用状況は、4,437人（同+40.4%）と前年を上回った。路線別にみるとソウル便は3,176人（同+47.2%）、上海便は1,261人（同+25.7%）となっている。

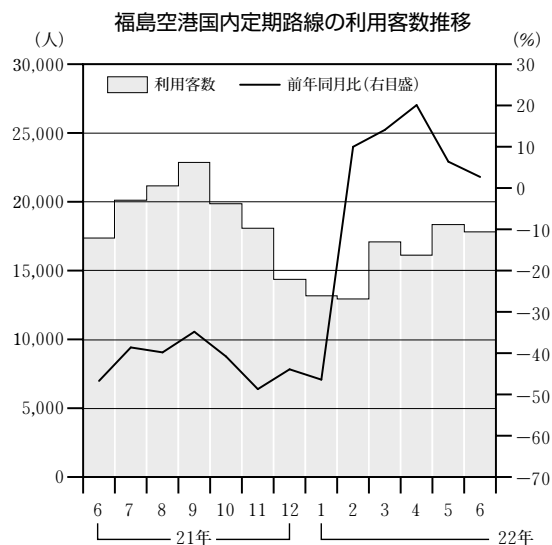
—— 投資動向 ——

公共工事 6月の公共工事前払保証取扱は、件数が685件（前年同月比△0.1%）と2ヵ月連続で前年を下回った。請負金額は194億34百万円（同△16.2%）、保証金額は70億59百万円（同△13.2%）となり、それぞれ6ヵ月ぶりに前年を下回った。

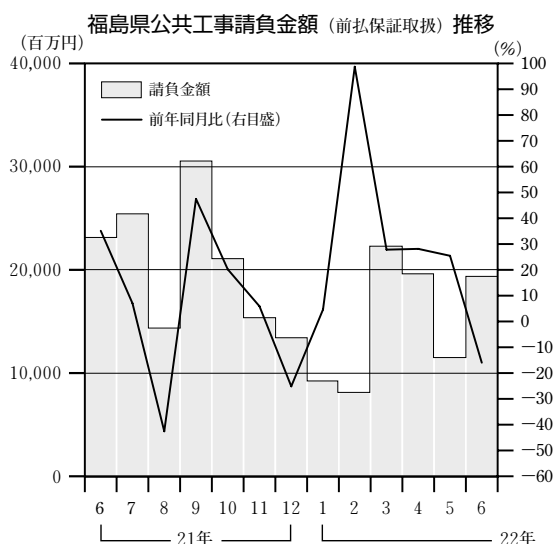
なお、年度累計（2010年4月～6月）では、件数が前年同期比24件増加し、1,295件（前年同期比+1.9%）、請負金額が同26億43百万円増加し、508億10百万円（同+5.5%）、保証金額が13億49百万円増加し、185億61百万円（同+7.8%）となっている。

6月の主な発注者別の請負金額は、国が前年比2億1百万円減少し、21億4百万円（同△8.8%）となった。独立行政法人等（東日本高速道路㈱など）は同15億42百万円減少し、28億9百万円（同△35.5%）となった。県は同1億96百万円増加し、54億30百万円（同+3.8%）となった。市町村は同13億97百万円減少し、87億87百万円（同△13.7%）となった。

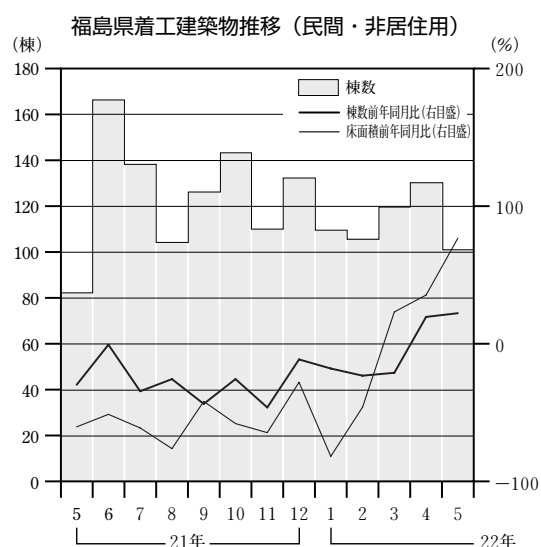
設備投資 5月の建築着工（民間・非居住用）は、



（資料：福島県商工労働部空港交流課）



（資料：東日本建設業保証㈱）



（資料：国土交通省）

棟数が102棟（前年同月比+22.9%）と2ヵ月連続で前年を上回った。床面積は36,419m²（同+77.4%）、工事費予定額は52億円（同+1.1%）となり、それぞれ3ヵ月連続で前年を上回った。

6月の建築物確認件数（計画変更を除く）は、805件（前年同月比+8.1%）と4ヵ月連続で前年を上回った。建築物別にみると、1～3号建物（一定規模以上の建築物が対象）は165件（同+13.8%）と2ヵ月ぶりに前年を上回った。4号建物（小規模な木造・非木造住宅などが対象）は640件（同+6.7%）と2ヵ月連続で前年を上回った。「構造計算適合性判定合格件数」は23件と前月比8件増加し、2ヵ月連続で前月を上回った。

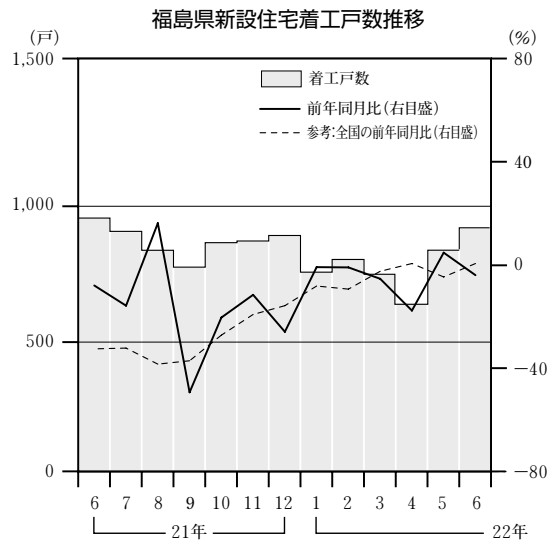
建築物着工の先行指標である6月の建築物申請件数は、781件（同+0.1%）と5ヵ月連続で前年を上回った。建築物別にみると、1～3号建物は146件（同△5.8%）と6ヵ月ぶりに前年を下回った。4号建物は635件（同+1.6%）と4ヵ月連続で前年を上回った。「構造計算適合性判定申請件数」は35件と、前月比10件増加し、3ヵ月連続で前月を上回った。

住宅建設 6月の県内新設住宅着工戸数は、885戸（前年同月比△3.9%）と2ヵ月ぶりに前年を下回った。主な利用関係別にみると、「持家」は516戸（同△15.1%）と2ヵ月ぶりに前年を下回った。「貸家」は334戸（同+22.8%）と3ヵ月ぶりに前年を上回った。「分譲」は34戸（同△17.1%）と2ヵ月ぶりに前年を下回った。うちマンションの着工戸数は、先月14ヵ月ぶりに実績計上となったが、当月はゼロであった。

生産活動

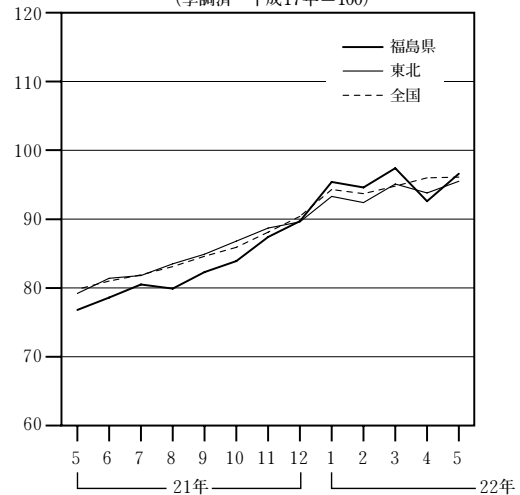
鉱工業生産指数 5月の鉱工業生産指数は、季節調整済指数でみると96.6（前月比+4.3%）となり、2ヵ月ぶりに前月を上回った。原指数は85.9（前年同月比+25.8%）となり、6ヵ月連続で前年を上回った。

上昇および低下した主な業種別（季節調整済指数）では、化学工業で106.4（前月比+29.3%）、精密機械工業で126.3（同+22.0%）、情報通信機械工業で125.5（同+8.0%）など9業種で上昇



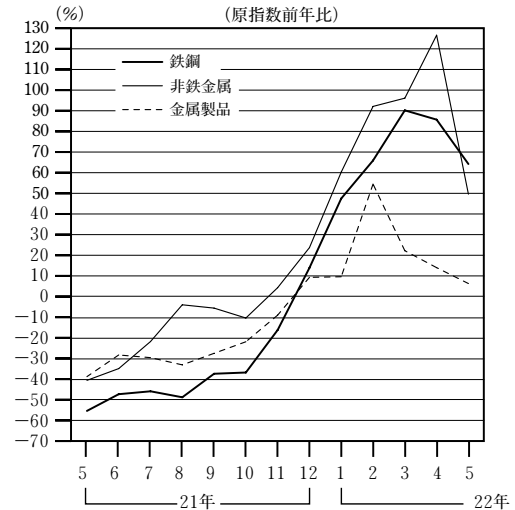
（資料：国土交通省）

福島県鉱工業生産指数（全国、東北との比較）
（季節調整済 平成17年=100）



（資料：福島県企画調整部統計調査課）

福島県業種別鉱工業生産指数の推移
（原指数前年比）



（資料：福島県企画調整部統計調査課）

した。一方、繊維工業で48.7（同△13.7%）、金属製品工業で63.8（同△4.3%）、電気機械工業81.8（同△2.9%）など11業種で下降した。

化学 6月の食品包装フィルム用合成樹脂やフッ素樹脂、金属代替プラスチック、医薬品の生産は、好調が続いており、炭素繊維、フッ素樹脂なども持ち直しの動きが強まっている。酸化チタン（白色顔料、自動車用塗料向け）の生産やバリウム化合物（電子部品原料）の生産は、持ち直しの動きが続いている。

鉄鋼・金属 6月の伸銅品の生産は、半導体向け電子材および自動車向け端子材とも、前年を大幅に上回り推移した。建機用鋳造品の生産は、新興国向けが好調、国内向けが低調だったものの、合計では前年を上回り推移した。車両用鋳造品は、新幹線、JR 在来線の更新需要および海外需要に支えられ、堅調に推移した。船舶用バルブ部品および陸上プラント用バルブ部品の生産は、前年をやや上回り推移した。

輸送用機械 6月の自動車用鋳造品の生産は、海外向けが牽引し、前年を大きく上回り推移した。自動車用オイルシールの生産は、国内販売の復調を受け、持ち直しの動きが続いている。

電気機械 6月の変圧器、自動車モーターの生産は堅調に推移し、配電盤、電熱炉の生産が振るわなかったものの、全体では前年をやや上回った。

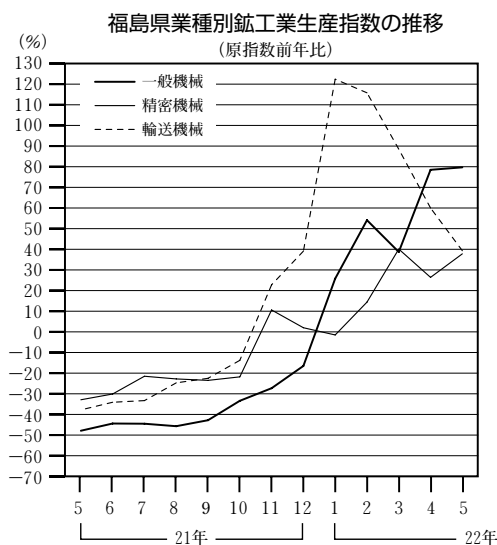
情報通信機械 6月の携帯電話中継局用マイクロ波通信機器の生産は、主力のインド向けが低調、前年を下回り推移した。衛星通信機器関連、FA 関連機器の生産は、前年並みの水準で推移した。

電子部品・デバイス 6月のLSI（大規模集積回路）の生産は、AV・ゲーム機・家電向け、車載品、産業機器、パソコン・OA 向け等が好調に推移するなど、持ち直しの動きが続いている。

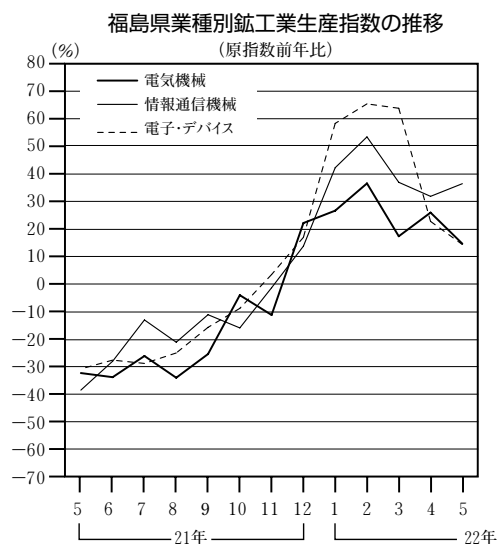
精密機械 6月の医療用内視鏡の生産は、前年を上回り好調に推移した。デジタル一眼レフカメラ用レンズは、持ち直しの動きが続いており、前年をやや上回り推移した。

紙・紙加工品 6月のノーカーボン紙の生産は、前年をやや上回り推移した。一方、感熱紙、インクジェット紙の生産は、前年をやや下回った。

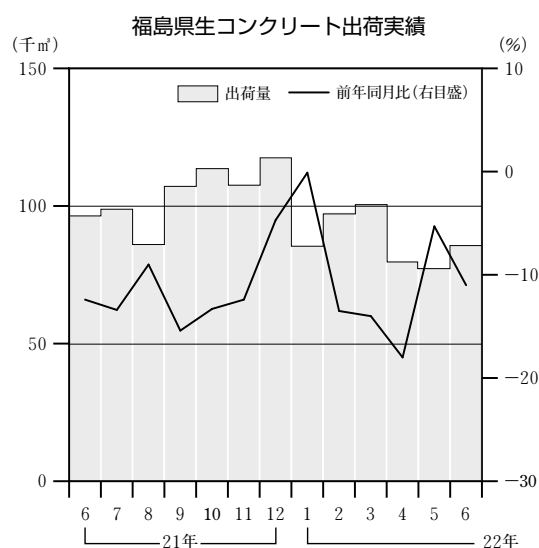
窯業・土石 6月の生コンクリート出荷量は、



(資料：福島県企画調整部統計調査課)



(資料：福島県企画調整部統計調査課)



(資料：福島県生コンクリート工業組合)

全体で86,342^m (前年同月比△11.0%)と15ヵ月連続で前年を下回った。増加地区についてみると、官公需では、会津地区でダム取水トンネル建設工事等、相双地区で国道整備工事、白河地区で地方道改築工事等により、民需では、県北地区で輸送機械系の工場増設工事等、いわき地区で火発増設工事等により増加した。

清酒 6月の清酒移出数量は、1,171kl (前年同月比△5.6%)と21ヵ月連続で前年を下回った。タイプ別では、特定名称酒(吟醸酒・純米酒・本醸造酒)が398kl (同△9.4%)と2ヵ月連続で前年を下回った。一般酒(特定名称酒以外の酒)は、773kl (同△3.5%)と21ヵ月連続で前年を下回った。

化合繊維物 6月のナイロンの生産はダウンジャケット(表地)向けを中心に、前年並みの水準で推移した。ポリエステルは、紳士服、婦人服の裏地向けなど前年並みの水準で推移した。

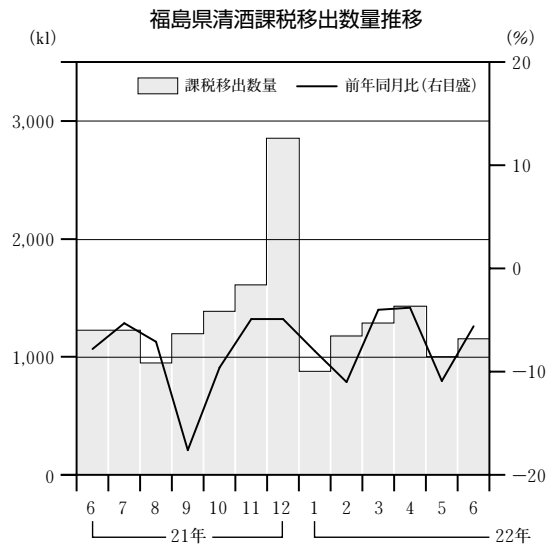
ニット 6月のニットの生産は、秋物生産が中心であるが、国内需要の低迷から、受注・生産は低調に推移した。

大口電力 6月の大口電力販売量は、549百万kw/h (前年同月比+8.9%)と7ヵ月連続で前年を上回った。大口主要販売先を業種別にみると、「非鉄金属」で126百万kw/h (同+20.3%)、「電気機械」で102百万kw/h (前年同月比△12.5%)、「化学」で58百万kw/h (同+6.9%)、「輸送用機械」で60百万kw/h (同+32.7%)、「一般機械」で28百万kw/h (同+18.1%)、「紙・パルプ」で15百万kw/h (同+4.8%)となっており、特に、非鉄金属や輸送用機械で好調が続いている。

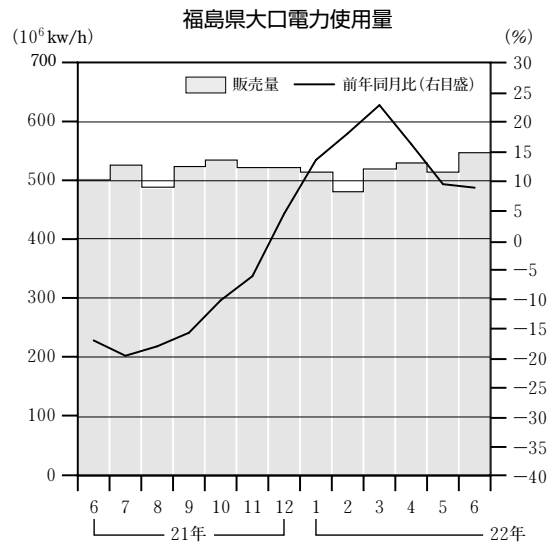
—— 企業倒産 ——

企業倒産 6月の企業倒産(負債金額10百万円以上)は、倒産件数が7件(前年同月比△36.4%)となり、5ヵ月連続で前年を下回った。負債総額は、20億92百万円(同△28.6%)となり、4ヵ月連続で前年を下回った。

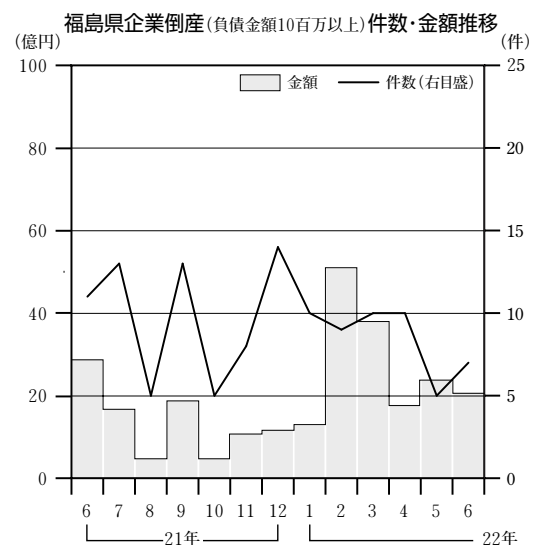
年間累計(2009年1月～6月)では、倒産件数が前年同期比18件減少し、51件(前年同期比△26.1%)、負債金額が同46億11百万円減少し、



(資料：福島県酒造組合)



(資料：東北電力福島支店)



(資料：帝国データバンク福島支店)

165億5百万円（同△21.8%）となっている。

倒産主因別内訳は、7件全てが受注・販売不振など不況型倒産であった。業種別内訳は、製造業が2件、建設業、小売業、運輸・通信業、サービス業、その他が各1件となった。また、地区別内訳は、県北（本宮市以北）が1件、県南（郡山市以南）が4件、浜通りが2件となった。

金融動向

資金需要 県内金融機関（全国銀行、第二地銀、信用金庫、信用組合の県内店舗分）の5月末の預金残高は、6兆5,354億円（前年同月比+1.8%）と39ヵ月連続で前年を上回った。貸出金残高は、3兆8,030億円（同△1.8%）と7ヵ月連続で前年を下回った。

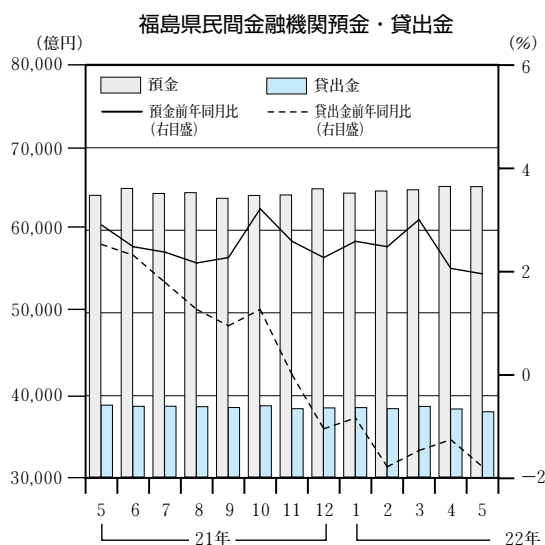
※県内金融機関の6月末の預金ならびに貸出残高については、データ未入手につき5月末のデータを参考として掲載いたしました。

保証協会 6月の保証承諾は、件数が1,181件（前年同月比△13.5%）、保証金額が122億98百万円（同△14.7%）となった。6月末日現在の保証債務残高は、件数が43,202件（同△0.3%）、金額が3,512億68百万円（同+1.2%）となった。また、6月中の代位弁済は、件数が68件（同△15.0%）、金額が4億27百万円（同△43.3%）となり、それぞれ2ヵ月連続で前年を下回った。

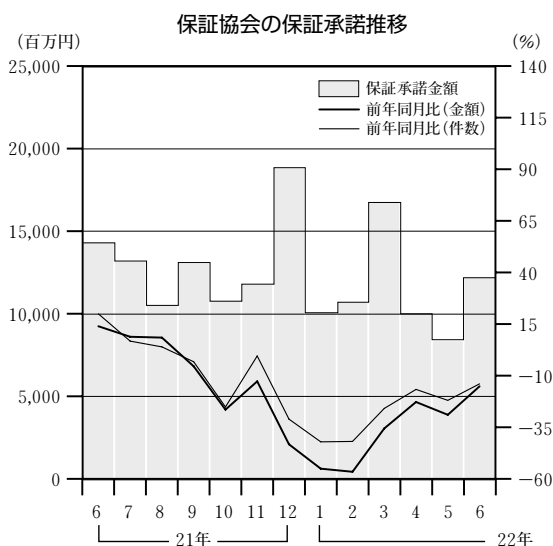
雇用動向

雇用動向 6月の新規求人数（原数値）は、8,662人（前年同月比+12.9%）と4ヵ月連続で前年を上回った。新規求職申込件数（原数値）は、11,400件（同+0.2%）と2ヵ月連続で前年を上回った。

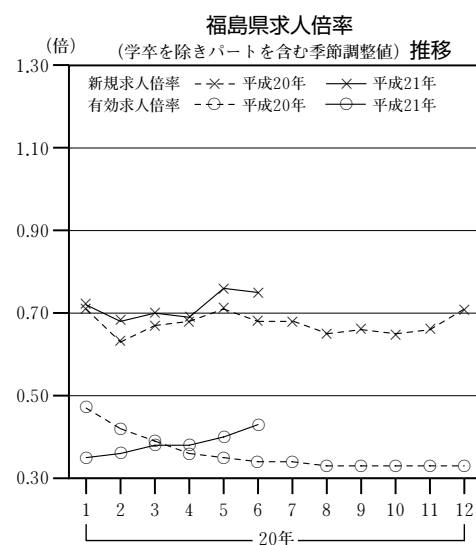
新規求人倍率（季節調整済、パート含）は、0.75倍（前月比△0.01_割）と2ヵ月ぶりに前月を下回った。原数値は0.76倍（前年同月比+0.09_割）と5ヵ月連続で前年を上回った。有効求人倍率（季節調整済、パート含）は、0.43倍（前月比+0.03_割）となり、2ヵ月連続で前月を上回った。原数値は0.38倍（前年同月比+0.08_割）と3ヵ月連続で前年を上回った。



（資料：日本銀行福島支店）



（資料：福島県信用保証協会）



（資料：福島労働局職業安定部）